

オミクロン株流行に伴い

健康な子の死
今年入り急増

新型コロナウイルスの
オミクロン株流行に伴
い、健康な子が感染して
亡くなる例が後を絶ちま
せん。死亡幼児らの半数
に基礎疾患がないとの調
査結果もあり、専門家は
保護者らにワクチン接種
に関する正しい情報を得
た上での判断を求めてい
ます。

国立感染症研究所など
によると、同株流行前の
昨年末時点では、亡くな
った20歳未満の感染者は
累計3人でした。しか
し、同株流行による感染
者総数の増加に伴い、今
年1～8月では41人に急
増しました。

このうち詳細に調査で
きた29人を分析すると、
14人には中枢神経疾患や
先天性心疾患などがあつ
た一方、残る15人は基礎
疾患がありませんでした。

15人の内訳は0歳4
人、1～4歳2人、5歳
以上9人で、医療機関到
着時の症状は発熱や意識
障害などが目立ち、6割
超が発症後1週間未満で
亡くなっています。死
亡に至る主な経緯は、多
くの例で中枢神経系や循
環器系の異常が疑われま
したが、呼吸器系異常は
ありませんでした。